

決 算 特 別 委 員 会（全体会）

日 時 平成28年9月27日（火） 午前 時 分～
場 所 全員協議会室

1 開 議

2 決算審査

- （1）分科会委員長報告（報告、質疑）
- （2）事務事業評価（分科会）結果（質疑）
- （3）自由討議
- ＜休憩 会派会議＞
- （4）討論
- （5）採決
- （6）指摘要望
- （7）事務事業評価の決定

3 その他

- （1）決算特別委員会委員長報告について
- （2）議会だよりについて

決算特別委員会分科会 指摘要望事項(案)

H28年9月

総務文教分科会

【一般会計】

○「“ヒロシマ”に学ぶ親子平和の旅」、平和推進事業補助金については、平成27年度をもって終了するということであるが、今日の社会状況を踏まえ、もう少し慎重に取り扱われたい。

○教育費全体について、当初予算額と決算額を比較する中で、所要額を適切に当初予算措置されたい。

環境厚生分科会

【一般会計】

○国の天然記念物としてのアユモドキの環境保全事業について、国や府の責任をさらに明確にされたい。

産業建設分科会

【下水道事業会計】

○近年、豪雨等により市内各所で内水等による浸水被害が生じている状況を踏まえ、雨水排水事業については、早期に整備計画の具体化を図るとともに、河川整備の取り組み等と合わせ、広域的な事業推進を望む。

決算特別委員会指摘要望事項 (H28年9月)

一般会計及び各企業会計の決算認定にあたり、次の点を指摘要望事項とする。
当該事項については、執行機関において改善に向け検討を行い、予算執行及び平成29年度予算編成への反映を望むものである。

【一般会計】

○「“ヒロシマ”に学ぶ親子平和の旅」、平和推進事業補助金については、平成27年度をもって終了するということであるが、今日の社会状況を踏まえ、もう少し慎重に取り扱われたい。

○教育費全体について、当初予算額と決算額を比較する中で、所要額を適切に当初予算措置されたい。

○国の天然記念物としてのアユモドキの環境保全事業について、国や府の責任をさらに明確にされたい。

【下水道事業会計】

○近年、豪雨等により市内各所で内水等による浸水被害が生じている状況を踏まえ、雨水排水事業については、早期に整備計画の具体化を図るとともに、河川整備の取り組み等と合わせ、広域的な事業推進を望む。

必要経費は当初予算で適切に見込み、補正予算による対応は必要最小限にとどめること。

《総務文教分科会》

平成28年9月決算特別委員会 事務事業評価結果

番号	事業名	評価	意見等
1	生涯学習推進経費 (財団活動経費(生涯学習かめおか財団補助金)、生涯学習賞経費)	3 見直しの上継続	○市民ニーズをしっかりと把握して、生涯学習事業を実施すべきである。 ○全国各地の生涯学習を通したまちづくりに取り組む市町村振興に寄与するため、本市において生涯学習賞を実施する必要があるのか検討されたい。 ○財政状況が厳しい中で、生涯学習賞の賞金の額、また、賞金を出すこと自体についても、他の表彰との整合性も考慮する中で、検討されたい。 ○生涯学習に取り組んでいる市民団体への補助金を充実することにより、地域の文化活動を支えていくべきである。 ○生涯学習大賞は隔年で表彰されているが、該当者がいない場合は、無理に表彰する必要はない。
2	地域イントラネット管理経費	2 現状維持	○自治体の情報セキュリティ対策強化の必要性が高まる中で、ネットワークの適切な運用管理に努められたい。
3	要保護・準要保護児童生徒援助経費(小学校費・中学校費)	2 現状維持	○新入学児童生徒学用品費等について入学前に支給されるよう、前払いの検討をされたい。 ○児童生徒の学校生活に支障がないよう、現状維持に努められたい。 ○財政状況が厳しい中で、準要保護児童生徒援助経費について、市として、地方交付税等で十分に、財源措置されるよう、国に要望すべきである。
4	放課後児童対策経費	1 拡充	○制度の充実に向けて、場所や支援員等の確保など、受け入れ態勢の整備に努められたい。

《環境厚生分科会》

平成28年9月決算特別委員会 事務事業評価結果

番号	事業名	評価	意見等
1	ごみ減量・資源化等推進事業経費	3 見直しの上継続	○クリーンかめおか推進会議等についてはあり方を検討すること。
2	生活困窮者自立支援事業経費	1 拡充	○業務の実態を正確に把握し、相談業務に係る人材育成等を含め、しっかりと連携・対応されたい。
3	老人クラブ育成経費	3 見直しの上継続	○高齢者のニーズ、実態にあわせて事業の見直し、充実を図られたい。
4	地域生活支援事業経費	1 拡充	○相談業務の拡充など必要な事業の機能を強化し、国等の補助金確保に向けた要望をされたい。

《産業建設分科会》

平成28年9月決算特別委員会 事務事業評価結果

番号	事業名	評価	意見等
1	商店街等活性化推進事業	3 見直しの上継続	○地方創生交付金等を活用した補助事業(プレミアム付商品券や「街バル」「100円商店街」等)は一過的な事業効果とならないよう、その効果を分析して、次の施策への工夫・展開が求められる。商店街・個店の意欲を喚起し、その魅力をさらに引き出せるような支援に向けて取り組まれない。
2	公園緑地管理経費	3 見直しの上継続	○亀岡運動公園については、利用者のニーズにより的確かつ速やかに応えられるよう、指定管理者制度を十分活用する中で業務内容を見直し、一層のサービス向上に努められたい。